

平成27年度9月補正予算賛成討論

公明党京都市会議員団は、議第162号、京都市一般会計補正予算に賛成の態度を表明しておりますので、以下、その理由を述べ討論を行います。

まず、今回の補正予算の大きな柱の一つである京都ならではの地方創生の推進と消費喚起による京都経済の底上げについては、自公政権が打ち出す景気回復の実感を、家計、地域へとの方針に基づき、本年2月に創設された「地域住民生活等緊急支援のための交付金」を活用したもので、正に国と地方が一体となって地方創生を推進する重要な予算であります。消費を喚起し、商店街をはじめとした中小企業の振興等を目的として発行されるプレミアム商品・サービス券については、現在、第1期の途上ではありますが、好調に事業が進んでいるものと実感しています。一般販売申込冊数は、発行冊数を大きく上回り、当選者の購入率は98.1%とほぼ完売、子育て世帯分の購入率も55.9%と半数を超えました。まちのいたるところで話題にものぼり、まさに市民の皆様が家計の応援をと求めている事業であると改めて確信したところです。

さらに、事業者の皆様からも、販売促進セールを実施し、商店街の活性化につながった、商店街で商品券利用促進イベントとして抽選会を実施したところ多くの人が押し寄せ途中で景品がなくなるほど賑わった。ついで買いにより売り上げが増えた。などと喜びの声も多く寄せられ、市全体で盛り上がりを見せ、所期の目的を達成しつつあるものと評価しています。

そして、多くの皆様からの第2弾をとの声に応えての今回の補正予算については、第1期で見た課題に即応した改善が見られます。少額な商品を取り扱っている店では1,000円券は使われないとの声に500円券が発行される予定と聞いています。ご近所の方は3冊当たったのに我が家は1冊も当たらなかった、より多くの人に当たるようにすべきだとの声に販売冊数を上回る申し込みがあった場合、2冊または3冊の購入希望の方については、当選冊数を減らす調整もするとのことであります。さらに、より商店街の振興につながるようにと商店街共通のキャンペーンも実施される予定など、より消費を喚起し、商店街の振興につながるものと期待が大きく膨らむきめ細やかな制度設計がなされています。

このプレミアム商品・サービス券に加え、バイオテクノロジーを生かした京都産業活性化事業、「世界一の観光都市“KYOTO”」ブランド向上事業、京都市伝統産業設備改修等補助金の充実と、まさに京都の魅力満載の内容に地方創生の推進と京都経済の底上げへの期待が大きく膨らみます。

次に子育て支援、福祉などの更なる充実については、子育て環境日本一を目指す本市として、待機児童ゼロを継続するため、補正予算をもってして、適時に施設整備を行う姿勢は大きく評価できます。ただし、地域間の格差などの課題もありますので、今後も引き続き、地域のニーズに合った整備が時期を逸することなく進むよう要望いたします。また、高齢者支え合い活動創出モデル事業など地域包括ケアシステムの構築に向けた事業の充実を歓迎するとともに、事業実施の中で関係者の皆様の意見を十分に取り入れ、よりよい制度へと発展することを望みます。

最後に土木災害復旧事業については、台風11号による被害に対して、いち早く復旧が進むべく今回の補正予算に期待するとともに、災害に強いまちづくりに向けた徹底的な取組を念願するものであります。毎年のように台風による被害にみまわれる本市は、今まで以上に防災を重視して予算を確保すると意思統一すべきであります。具体的には日常のパトロールを強化し危険個所を把握すること、また災害時の復旧についても、単なる復旧ではなく、災害防除の視点を踏まえたビジョンが必要と指摘させていただきます。

以上、会派の考え方を述べてまいりましたが、公明党京都市会議員団は、小さな声を形にするため、どこまでも支え合い一人を大切にする社会の実現と人が生きる地方創生に向けて奮闘することを表明し賛成討論といたします。御清聴ありがとうございました。